

□ 第3章 まちづくりに対する市民の意識

1 本市のまちづくりの方向 —市民アンケート調査から—

小美玉市総合計画後期基本計画を策定するにあたり、市民の皆様のご意見などを計画に反映させるため、市民アンケート調査を平成24年1月に実施しました。

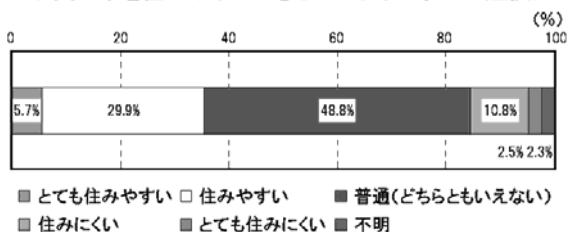
1 住みやすさの評価について

「とても住みやすい」と「住みやすい」を合わせた値が、「住みにくい」と「とても住みにくい」を合わせた値の倍以上を占めています。

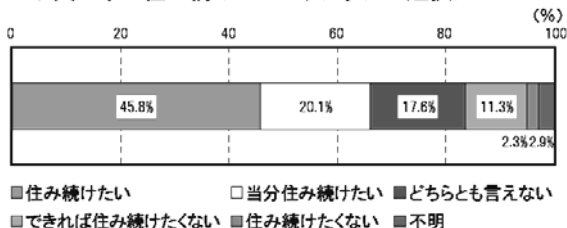
また、約66%の人が、「住み続けたい」もしくは「当分住み続けたい」と考えています。

住み続けたいと考えている人は、既に地域に根ざした環境や生活が定着していることが背景にあると考えられます。今後は、交通の利便性や日常生活での不便さを解消することで、さらに住み続けたい人を増やすことが求められています。

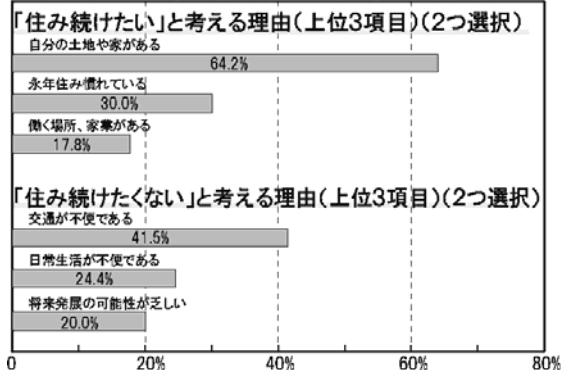
■小美玉市を住みやすいと感じていますか。(1つ選択)



■小美玉市に住み続けたいですか。(1つ選択)



■「住み続けたい」・「住み続けたくない」と考える理由



2 市民生活の満足度について

行政の情報化対応や市民の参加や意見反映、広報などについて満足度が増しています。今後は、市民ニーズの多様化・高度化に対応した窓口対応や市民サービスについてさらなる改善が求められます。

保健福祉・医療分野について全体的に満足度は増しています。近年ニーズが高まっている介護や障がい者対策、医療、救急などについて、今後も継続的に充実を図ることが求められています。

都市基盤や生活環境分野について、全体的に満足度は増しています。しかし、東日本大震災を受け災害などへの対応について改善を求める声が多く聞かれました。

教育・文化・スポーツ分野について、全体的に満足度は増しています。

自然環境の保全分野は特に変わりはありませんが、継続的に取り組む必要があります。

産業分野においては買い物環境の改善や農業振興策の充実、さらには歴史的資源を活かした観光施設の充実を求める声が高まっている結果となりました。

3 各分野における期待される取り組みについて

①財政・市民参加について

効果的な行財政を運営していくためには、3割程度の方が財政の健全化や人材育成の推進が必要だと考えています。

市長や市議会議員との懇談会など直接対話や、市政モニター制度を挙げる人が多くになっており、直接的に意見を伝える場を求める声が多くなっています。

②都市基盤について

6割近くの方が「生活道路の整備」を望んでおり、「市街地の再整備」や「駅周辺の整備」と比べ、突出しています。

③保健・医療・福祉について

地域福祉の充実については半数以上の方が「保健・医療・福祉の連携強化」を挙げ、次いで「地域ケアシステムの充実」が多く挙げられています。また、地域活動の充実も3番目に多くになっており、地域全体での取り組みが求められています。

④生活・自然環境について

生活環境の向上については、「下水道・排水路などの整備」や「大気汚染・悪臭・騒音などの公害対策」を挙げている人が多くなっています。

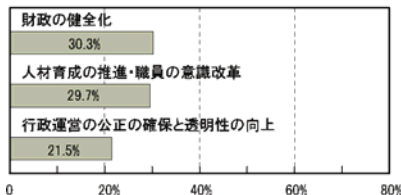
⑤教育・文化・スポーツについて

学校教育で大切なものとしては、「豊かな心をはぐくむ教育の充実」や「人格形成の基礎を培う幼児教育の充実」、「社会の変化に適切に対応できる教育の充実」の順で高い値でしたが、前回調査と比較すると「健康や体力をはぐくむ教育の充実」や「社会の変化に適切に対応できる教育の充実」が増加しています。

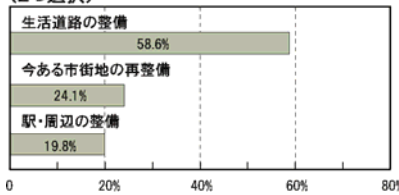
⑥産業について

今後の新たな産業としては、4割弱の方が「茨城空港を生かした新たなビジネス支援」を期待しており、次いで「地産地消の促進」や「異業種連携の促進」の順に多くなる結果となりました。これらはいずれも前回の5年前の調査よりも割合が増加しています。

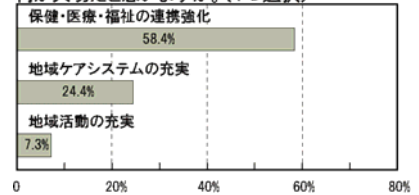
①効率的な行財政を運営していくためには、何が大切だと思いますか。(2つ選択)



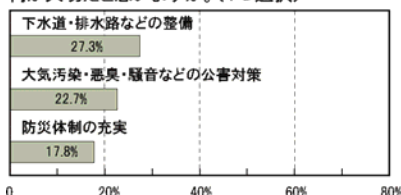
②都市基盤の整備では何が大切だと思いますか。(2つ選択)



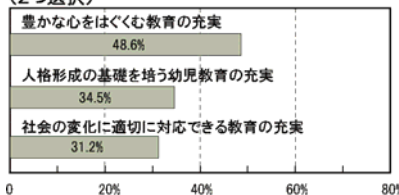
③地域福祉を充実していくためには、何が大切だと思いますか。(1つ選択)



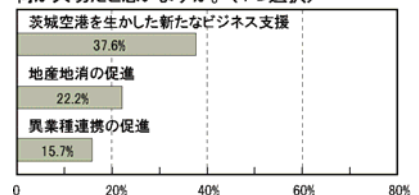
④生活環境の向上を図るためには、何が大切だと思いますか。(1つ選択)



⑤学校教育については何が大切だと思いますか。(2つ選択)



⑥今後の新たな産業については、何が大切だと思いますか。(1つ選択)



2 本市のまちづくりの方向 —各種団体ヒアリングから—

1 団体ヒアリングの結果

各種団体ヒアリングは総合計画の策定過程において、アンケートでは把握できない、分野別の意見を直に聞く機会を設け、計画策定の資料とすることを目的に実施しました。下記に寄せられたご意見を分野別に掲載します。

① 「みんなで創る自治のまち」

- ・行政はまちづくりの専門家として市民の様々な提案や要望をかたちにする体制、考え方、パワーを持ち、市民はそれに協力する。また、できなければ何ができるのか市民と一緒に考えて進めていくことが、まちづくりにおける市民と行政の関係だと思えます。
- ・相談事業では、二つ以上の窓口へ相談していることも考えられるため、類似する相談機関の横の繋がりを持つ場を設置していただきたい。
- ・まちづくりについていろいろな意見を聴いて反映することも結構ですが、もっと行政側の思いや考えを住民に伝えて理解してもらうことも重要だと思えます。声の大きい人の意見が通ってしまい、どこが本物の部分か分からなくなったままで動くことが怖いと思えます。

② 「未来を拓く快適・便利なまち」

- ・茨城空港周辺は、東関東や北関東へのアクセス道も整備され、着々と変化してきている。
- ・合併後、幹線道路は整備が進められているが、生活道路の整備も進めて欲しい。

③ 「うるおいのある安全・安心なまち」

- ・防災対策として、備蓄食料の整備や姉妹都市の締結などを進めてもらいたい。
- ・空き家が増えてきているので、その対策を考えて欲しい。
- ・防犯などの危険が伴う活動へは、保険など最低限の対応を引き続きお願いしたい。

④ 「ぬくもりにあふれる健やかなまち」

- ・生活保護や高齢者福祉に関する需要は年々増加しているが、これに対応する職員数は年々減少しています。経費の削減ということで福祉サービスが低下しては困ります。
- ・学童保育や放課後子どもプランなどの子どもたちの安全で健やかな居場所づくりが充実しており、子育て世代には大変ありがたい。
- ・食育に関する事業がかなり増えてきております。若い世代は外食や中食などによる食生活がなされているようなので、子ども会行事などへ出向いて伝統料理などを教えていければと良いと思えます。

⑤ 活力に満ちた産業のまち

- ・農業では、耕作放棄地の問題や後継者不足で困っています。
- ・遊休農地を利用して太陽光パネルを設置して太陽光発電をしてはどうか。

⑥ 個性豊かな教育・文化のまち

- ・学校の適正化問題については、子どもたちが適切な教育を受けていくための大事な案件なので、十分に検討いただいて指針を出していただきたい。
- ・司書教員の配置や35人学級の推進など、小美玉市の実態に合わせて市独自の基準をつくって教育行政に取り組んで欲しい。

⑦ 信頼で築く自主・自立のまち

- ・福祉施策では生命にかかわることなどもあるので、個人情報規制緩和をして情報の共有化が必要である。
- ・国の動向や制度の改正など、情報をどんどん流して欲しい。

2 団体ヒアリングのまとめ

一部の活動や行政内部にも依然旧町村の垣根が取り払われず、課題が残っているといった意見もありましたが、全体としては、合併後の地域の一体感が増したといった意見や各団体の中での統一感が出てきたなど、合併により良くなったという意見が多く聞かれました。

地域活性化については、茨城空港の開港を契機として、産業振興の発展を期待する声が多く聞かれました。市内の良いものを発信しながら、農業から商業、工業、観光に至るまで、あらゆる分野の産業が一体となって魅力を高め、活性化につなげていくことが求められています。

教育に関わる人材や教材の充実を求める声が多くあり、教育のさらなる充実を求めていることが伺えます。

行財政については、合併後の市の窓口対応など市民との接し方が良くなったという意見が多く聞かれました。合併により当初の混乱した状況からは随分落ち着いてきたように伺えます。ただ、行政の機構改革などの合併により生じた変化や逆に変わっていない部分についての不満も聞かれました。また、住民サービスの充実や各行政機関の連携、思いきった公共施設の統廃合など市の財政難の状況から団体も自助努力により運営することを望む意見も聞かれました。

市に対しての意見では合併による効果が徐々に現れており、全般的に良くなった部分が多いように伺えました。

